



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主 題 (2008~2009)

- ・国際協会会長 『Be the Light of Hope』  
V.S.Bashir (India インド) 「希望の灯となろう」
- ・アジア地域会長 『Be the Light of Hope』  
Rita .Hettiarachchi (Sri Lanka スリランカ)
- ・西日本区理事 『思いやりを持ってワイズライフを!』  
佐藤 典子 (熊本ジェーンズ) "Share with a smile"
- ・六甲部 部長 『"悠々として急げ、ワイズライフ"』  
山口 政紀 (西宮) 「Festina Lente」
- ・西宮クラブ会長 『参加して、奉仕しよう!』  
**濱 浩一** "Let's join us in serving others!"

2008年7月  
722号 **60周年**  
62期1号  
since 1948.5.17

スポンサークラブ  
大阪クラブ  
DBC  
近江八幡クラブ  
広島クラブ

クラブ主役員	
会 長	濱 浩一
直前会長	小野 勅紘
副会長(次)	浅野 純一
副 会 長	岩田 健司
書 記	小野 勅紘
書 記	丸山 悦治
会 計	山本 常雄
会 計	藤原 百合子
監 事	小林 光枝
監 事	足立 康幸
担当主事	三島 浩司
六甲部長	山口 政紀
六甲部書記	廣瀬 一雄
六甲部会計	足立 康幸

2008年7月 西日本区強調ポイント "Kick-off EMC-C"

例会の充実。親睦と奉仕、自己研鑽、おおいにビジョンを語ろう。  
阪田 民明 EMC事業主任

(京都グローバルワイズメンズクラブ)

## 2008年7月第1例会のご案内

今月のテーマ: 『Kick-off EMC-C』

日時: 2008年7月18日(金) 19時~21時

場所: 西宮YMCA 保育園 3F

ドライバー: 伊地知睦夫メン、山本常雄メン

1. 開会点鐘 小野直前会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 浅野メン
4. ゲスト紹介
5. 会長・役員引継式 小野直前会長 濱新会長
6. 食前の感謝
7. 活動計画・予算・決算報告、質疑応答と審議
8. 誕生日のお祝い 一同
9. ワイズニュース 濱会長
10. YMCA 報告 三島館長
11. 閉会点鐘 濱会長

## 今月の聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。  
人がわたしにつながっており、わたしもその人につなが  
っていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れて  
は、あなたがたは何もできないからである。  
(ヨハネによる福音書 15章 5節) 伊地知睦夫メン選

6月 例会出席状況	在籍会員数
第1例会(6.20)	第2例会(6.6)
メ ン 14名	メ ン 9名
メネット・コメント0名	メネット 0名
ゲスト・ビジター2名	ゲスト・ビジター0名
合 計 16名	合 計 9名
Make up 4名岩田、濱崎、丸山、山口(出席率90.0%)	

【今月の言葉】『Kick-off EMC-C』

EMC Extention Membership & Conservation

URL: <http://www.kobeyymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

2008年7月 Happy Birthday To You

7/8 岩田 成子 ネット 7/16 濱崎 保津美 ネット 7/20 藤原 百合子メン

2008年5月17日(土) 広島・西宮・近江八幡3クラブ60周年記念合同例会  
琵琶湖ホテルで開催! 登録者数212名 ラッセ ベルケシュテット国際会長・ローランド ダル  
マス国際書記・藤井アジア地域会長・日本YMCA同盟山田総主事からメッセージが届いております。

## 第一例会の報告

ドライバー長井 慎吾メン

6月20日(金)19時より西宮 YMCA 保育園 3Fにて07～08年度の最後の例会を持ちました。テーマは、小野会長による1年間の評価、足立会計による会計決算見込みでした。なお、ゲストとして宝塚クラブより青柳美知子メンと少し遅れて、元クラブメンバーであり、故堀川メンを西宮クラブに導いた羽賀京子(旧姓山下)さんのお二方の参加がありました。

開会点鐘の後、本年度に神様の元へ旅立たれた仲間を忍んで黙とうを行いました(3/24 川瀬メン、4/10 宮田元メン、5/29 近江岸メン、6/8 堀川メン、6/10 古谷元メン)。司会をしている間に、ふと、川瀬メン、近江岸メン、堀川メンがこの場にいつもと同じように座られて、いつもの楽しげな会話をされているお姿が目につきました。



(EMC 事業表彰・優秀ワイズメン賞を山本メン、理事代理の小野会長より受け取られました。)

説明がありました。詳しい内容は、別途報告があると思いますのでそれに委ねるとして、「一年を振り返り、何といたっても60周年合同記念式典を盛大に開催できたことは、優秀の美を飾れた。3クラブ一丸となった成果だと感謝します」とのお言葉でまとめられました。

ゲストの青柳メンからは、一年間メネット主査を務められたことは、西宮クラブの宮地特別メネットを筆頭にみなさんのご協力のおかげであると感謝のお言葉がありました。

小野会長より、当初掲げた活動方針・計画に対して、たこと、できなかったことのご

以前から宝塚クラブと西宮クラブはもっと親密に活動をするべきと思っていたので、今回の役目はそのことを実践できる機会となり大変良かった。留学生の支援活動は今後も継続して



いきますのでご協力をお願いいたしますとのことでした。

羽賀京子さんは、砂子療

育園にお勤めされていた際に、宝塚クラブの今田メンの導きと山口政紀メンの力添えで西宮クラブに入会され、ご結婚されて関東へ移られるまでの4～5年間西宮クラブに在籍されました。彼女は兵庫県の洋上大学の活動をされ、その際に県の職員として堀川さんが関わられていたそうです。その縁で西宮クラブに堀川さんも入会する運びとなり、ワイズで楽しい時間をすごされたのだと紹介がありました。(山本メンより)羽賀さんは10年もたったのですねと改めて驚かれていましたが、クラブの居られた時とすこしも変わらない明るさがなんともホッとしました。



足立会計より、今年度の決算見込みが問題なく進んでいることと、山本次期会計

より次年度の予算説明がありました。若干の修正がありました。承認を頂くことができました。その後、有志で羽賀京子さんを囲んで小さな宴をもち楽しい時間を共有しました。参加メンバーは、(敬称略)山本、堤、藤原、浜、馬場、

佐野、岡田、足立、浅野、三島、廣瀬、小野、長井でした。

羽賀 京子さんからのメッセージ

「堀川メンの弔問に西宮に来ました。ワイズにご紹介した堀川メンが、メンバーに愛され、良き交わりの中で豊かな晩年を過ごされた事を知り、悲しみがやわらぎました。

翌日、弔問に伺い、奥様からも堀川メンが楽しい人生だったと言われた事をお伺いしました。西宮ワイズメンクラブに栄光あれ」

191-0064

東京都日野市富士町1-31 ビバヒルズ  
943 042-585-4570  
090-6948-6262

会長メッセージ

会長 濱 浩一メン

08-09 年度会長を仰せつかりました濱です。『参加して、奉仕しよう!』『Let's join us in serving others!』をテーマに皆様と一緒に六甲部を支援しつつ、1年間頑張っただけでゆきたいと思っておりますので、ご協力・ご指導をどうぞ宜しくお願い致します。

## 音を重ねる日々は心を重ねる日々に-46



楽団あぶあぶあ & ミュージカルチーム LOVE 代表ひがしのようこさん

音を重ねる日々は心を重ねる日々に - 46 今月はお休み

させて戴きます。 濱 浩一メン

川瀬メネットよりクラブへ寄贈

小野 勅紘直前会長

6月3日(火) 11時に水野神戸 YMCA 総主事、岡田佑一郎メンと3人で、お世話

になっておられるホームに川瀬純子メネットを訪問し、神戸 YMCA ならびに西宮ワイズメンズクラブ



に寄贈をいただいた。今後の活動に有益に役立てさせていただきます。川瀬メネットありがとう

うございました。

## 東日本区大会に参加して

小野 勅紘メン



初めて東日本区大会に参加した。江東区は勤務していた会社の東京本店が3年前に東陽町に移転、独身寮や研究所、機械工場があった馴染の場所。名古屋での西日本区大会でお会いした藤井アジア地域会長のメネットの父君が会社の常務の誼などで、一度見たかったのは行き易い東京でもある。

さて到着早々の西日本区の席は最前列で左最前列から見上げる苦しい姿勢。深川福住太鼓と富岡八幡宮の神輿の入場と、男女実行委員のが掛け合いで進める軽快な司会。

日本初の女性理事越智京子さん(東京タンポクラブ)の1年間の報告で、「常に前進、若者と共に」ので始まり、一番センセーショナルなのは北海道から沖縄までの63クラブの全てを訪問されたとのことで最多訪問賞を受賞。テーマ通



り横浜 Y3 の成果と2年後、22年ぶりの横浜での国際大会と東日本区10年誌の発行の報告。

ゲストスピーカーは直木賞作家の山本一力氏。江戸文化研究の立場から「長幼に情あり」と題しての記念講演。(詳細後記)

翌日も数々の表彰があり西日本区とは少し違ったものに知人友人同伴賞というのがあった。EMCの一環でしょうか。事業主任の担当も若干違っていた。西日本区よりは規模が小さいがアットホームな会場を後にした。

## 西日本区大会に参加して

廣瀬 一雄メン

6月14日(土)から始まりました第11回西日本区大会に参加しました。この報告を出席のメンに依頼しましたところ、皆さん



他の原稿を控えているのか、珍しく拒否されブリテン担当の小生が執筆することとなりました。当日の午前

は代議員会で次期六甲部長の山口メン、小野会長が出席。会場はなら100年会館でしたが、メネットアワーは同会館の中ホールで催されました。宮地特別メネット、山口メン、山本メンメネット、廣瀬メンメネットが参加しました。第2日目は理事役員の引継ぎ式が同会館の大ホールで行われ六甲部は大塚部長から山口部長へとバトンタッチでした。足立メン、三島主事の参加もありご苦労様でした。

## 古谷武雄元総主事を忍んで

岩田 健司メン

去る6月7日(土)午後12時53分、私達が敬愛する元神戸YMCA総主事古谷武雄様のご家族の見守りの内に主の御元に召されました。

1931年のお生まれですから、76歳でした。

古谷様は1961年に横浜YMCAから神戸YMCAに転籍され、体育主事、会員部主任主事、総務部主任主事を経て1980年に副総主事、1984年から1992年迄は総主事として神戸YMCAを歩んでこられました。

古谷様との出会いは1961年本間立夫前主事に替わって加西市にあった青野キャンプへキャンプ長として来られた時で、以来公私共に大変お世話になりました。

特に生涯こよなく愛された(お酒)、趣味の(魚釣り)には



幾度となく一緒しましたし、たくさんの思い出があります。

私が大学4年の時、中山手にあった旧体育館へよく遊びに行っておりました。

ある時、お腹の具合が悪くなり、帰りまうと言って体育館を出、近くの医院で診てもらって帰宅すると、古谷様から電話がかかっていました。

私が帰った後心配ですぐに後を追いかけて、阪急三宮から西宮北口迄の各駅のト

イレを見て廻ったが（当時トイレはプラ  
ットホームにあった）見つからなかった  
ので電話をしたとのことでした。  
この件があって以来、私は古谷様を心か  
ら信頼し、すっかり惚れ込んでしまいま  
した。尚古谷様は 1976 年に（お庭の幼  
稚園）後に神戸 YMCA 西宮ランチの  
設立に努力され、1992 年から 1995 年  
迄西宮ワイズメンとしてご活躍されまし  
た。先輩ワイズの思いを心に留め、ワ  
イズメンとして益々努めていきたいと思  
います。

### 「近江岸さん、お疲れ様。」

馬場 一郎メン

私は大学を出て銀行に勤めていましたが  
退職し、神戸 YMCA の職員募集の記事を  
新聞で読み、受けさせてもらい、ひろって  
いただきました。最初の勤務地は「余島」。  
1984 年 10 月の終わりだったと思いま  
すが、当時余島センター所長だった近江岸  
さん（37 歳のとき）と関西汽船で余島に向  
かいました。特等 B の部屋で、二人で缶ビ



**子どもには旅をさせ、  
いろんな人と出会わ  
せてほしい」と話す  
近江岸さん = 善通寺  
市文京町、四国学院  
大**

ール(500ml)10 本  
以上は空けたと思



ます。私は緊張していて、こ  
のときの会話はあまり覚え  
ていないんですが、「かっこ  
ええ人やなあ」という印象を  
持ちました。その関西汽船の

中で、近江岸さんのおばあさんの訃報が入  
りました。近江岸さんは、「うちのばあさん  
が、亡くなった。お前は仕事しとけと言わ  
れたわ」と言われていました。

最初の数ヶ月は、よく怒られました。そ  
の時の話をひとつ。余島センターにお客さ  
んが宿泊している日は、朝食の用意をする  
ために午前 6 時 30 分くらいには厨房に入  
るようにしているんですが、最初、私が 6  
時 20 分頃に厨房に行くと、近江岸さん  
がもう入っていて、「今回の新人は早い出勤  
やなあ」といやみを言われ、2 日目に 6 時  
10 分くらいに行くとまたしても近江岸  
さんは入っていて、「今日も早いなあ」と言わ  
れ、3 日目に 6 時前にいくとやっと近江岸  
さんより早く入れました。その日近江岸  
さんは午前 6 時 20 分くらいに入って来られ  
ました。ああ、「こういうやり方なんやな  
あ」と、ある意味感心したのを覚えていま  
す。でも、いろいろ怒られたのも数ヶ月で、  
その後はほとんど任せてくれるようになり、  
逆に何にも言われなくなりました。

夏のシーズン前には、近江岸さんからマ  
ンツーマンでヨット指導を受けました。お  
かげさまで、まったくの素人だった私が夏  
には、お客さんに乗せて指導するまでにな  
っていました。その年の夏は、キャンプ長  
に吉田さんが入り、近江岸さんはセンター  
にいながら、両方見ていました。昼間キャ  
ンプに入ったり、センターのお客さんの接  
待したり、夜はレストランでセンターのお  
客さんの完全接待。厨房がはけてからも、  
仲のよかったお客さんと所長室で接待・・・、  
みたいな感じでした。実際この頃は、近江  
岸さんファンのお客さんもたくさん来てい  
ました。1 日 24 時間仕事のような夏でし

たが、この頃の近江岸さんはほんとうに元気があったし、輝いていました。

私は1年で余島から予備校に異動になりましたが、その後も余島中高生キャンプのディレクターとして毎夏呼んでもらって、1年に1回は余島に行っていました。いろんな話を聞きました。文句が大半でしたが、文句以上に仕事をされていました。年末年始プログラムの時に、近江岸さんとお客さんが、レストランで飲んで歌って「大盛り上がり」の時間を過ごしました。その同じ時間にフロントで藤井さん(当時のスタッフ)が、「大盛り上がり」に入れなかったお客さんと静かにお話をしていました。そのことを近江岸さんは「Just, YMCA! 」と言われました。余島を、YMCA を本当に愛した人でした。

「我々は、人と神さまに仕える仕事をしているんや」と言われたことを思い出します。ええカッコいいで、文句いいでしたけど、本当に「人と神さまに仕える仕事」をしてこられた人やった思います。今はただ、「お疲れ様」としか言えません。

もう飲みにいけないのが寂しいけれど、「建助さん、本当にお疲れ様。」天国でゆっくりビール飲んでください。

## 堀川吉彦メン ワイズを偲んで

足立 康幸メン

去る6月8日(日)私たち西宮クラブのメンバー「堀川吉彦メン(66歳)」が突然の病に倒れられ、ご家族の祈りも届かず天に召されました。

ワイズメンズクラブに入会され、約10年間 西宮クラブを常に側面からお支え下さいました。その功績は非常に大きいもの

がありました。(西宮クラブ会長、六甲部ファンド主査等 歴住)

堀川メンとはワイズではいろいろな事業でコンビを組んでおりましたので追悼の想いを書いて見ます。

堀川メンとメンバーとの思い出と言えば毎年6月に淡路沼島へ鱧料理を食べに行き彼はいつも鍋奉行とし私達に食材を鍋に入れる手順をコーチして下さいました。

時には食材を鍋に入れるのが早すぎるとか多すぎる、まだ食べては駄目等 美食家である彼の指導のもと楽しく鱧すきを舌つつみしました。

3クラブ合同例会(広島 近江八幡 西宮)での淡路島及び有馬温泉では実行委員長としてリーダーシップを発揮され西宮YMCAで打ち合わせ等の後、夙川の焼鳥屋でワイズの話をしたり又 彼の目がより輝くときは 彼の趣味である蘭の栽培の話、農園での野菜造りの話をしている時、つい熱くなり時間が過ぎるのを忘れさせてくれました。又、メネットとは定年後、毎年海外旅行へ行かれ楽しかったお話をよくされておりました。



西宮クラブ会長時代は蘭についての栽培の色々な話を会長メッセージとして1年間連載され、中々好評であったと聞いております。

そんな堀川メンの一番心残りは60周年記念例会の実行委員として色々ご尽力頂いたにもかかわらず病気の為 記念例会に参加出来

なかった事ではなかったかと思えます。

私達は堀川メンの思いを心にとめ今後  
ワイズメンズクラブをより一層発展さ  
せていきたいと思っております。ご  
冥福お祈り致します。

## リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 <sup>いし</sup>石井 <sup>あさみ</sup>麻未さん

新年度が始まり3ヵ月に入りました。まだまだ  
新しいリーダーが見学や例会に来てくれ、  
リーダー会は活気であふれており、新鮮な風が  
吹いています。私はリーダーになり3年目にな  
りました。ちょうど3年前に初めてYMCA  
と出会いました。大学生の間にしかできない  
ことがしたいと意気込み、ボランティアという  
のが頭をよぎりました。緊張しながら初めて  
YMCA に向かい、ミーティング、例会とドキ  
ドキ、わくわくしながら参加したことを覚えて  
います。とても楽しいと思えたのはいつも笑顔  
で私たちを気にかけてくれ、頼もしい先輩方、  
同じ年に入り共に励ましあい共走しあった  
同輩、私たちを頼りにしてくれる後輩、キャンプ・  
例会で会う子どもたち、私は YMCA という  
素敵な居場所を見つけ、大切な多くの仲間と  
子供たちに出会うことができました。YMCA  
で出会った人々は私の一生の宝ものになり  
1つ1つが大切な人生の一部です。これからも  
YMCA で多くのことを学び、仲間・子供と  
共に今年のねらい、「共遊」していきたいと思  
います。

### 山本一力氏の講演の要旨

今若者は年長者を大事にしない。長じた方は多くの経験  
と知識を伝えてくれる。責任には法的な責任（後知恵）と  
道義的な責任があり江戸文化は道義を守ってきた。責任を  
取るという人は嘘付き。本当に責任を重視する人はそうな  
らないよう目を光らせている。それが教育。自分の長男が  
通うキリスト教系の中学校の校長は65歳で定年 人  
には必ず出番がある 出番に備えよ（神からの出番）タイの  
チェンライで AIDS で親を失った孤児院に全財産を投入  
チャペルを建設し人生を捧げている。そこに長男が1か月  
ステイして人生が変わった。今が出番なのである。江戸職  
人の誇りに似ている。千葉銚子の醤油樽職人の誇り 樽の  
木口に名前 解体しないと名前は分からない。（無名の誇  
り）宮城谷氏の三國志 賄賂と商人 誰も見ていない  
天・地・あなた・自分と4人も見ているではないか。池  
波正太郎 言葉だけでは伝わらないのが男の財布。京都錦  
湯の親爺 柔らかな井戸水の湯に浸かった。風呂場で誕生  
祝いをする。出番に備え、出番を選べ。

## 西宮YMCA保育園だより

三島浩司メン（保育園園長）

（西宮YMCA保育園だより6月号より）

この春、中学2年生になった長男が「委員長」  
になりました。その委員長をするのが嫌だと言  
っています。理由を聞くと、クラスの中で問題  
（忘れ物をしたり、けんかやいたずらをしたり、  
授業中におしゃべりをするなど）がある生徒に  
注意をしなければならないからだということ  
でした。勿論そんなに簡単に聞いてくれるわけ  
はなく、それどころか「なにええかっこしてる。」  
などと攻められる事の方が多いようです。注  
意する事の大変さ、難しさを感じながら悩んで  
いるようです。

YMCAの学生ボランティアリーダー達も「叱  
る」「注意する」ことで悩んでいます。ある  
リーダーは、「（反発をかわず、素直にきいて  
もらえるように）どう注意すれば良いかよく  
わからない。」と言っていました。その子自身  
にとって、また、周りの人々にとっても望まし  
い方向へ導いてあげることがその子への真の「愛」  
だと思えます。

飲食業のチェーン店でエリアチーフをしている  
方とお話した時に「最近、少し厳しく注意すると  
すぐにやめてしまう子が多くなった。」と嘆い  
ておられました。このチーフの方、実は学生時代  
にYMCAでリーダー活動をし、担当のYMCA  
スタッフからよく叱られていました。時には涙を  
流す事も。その彼が「社会に出て人の上に立つ  
ようになってあの時叱られた意味がよくわかる  
ようになった。叱ってもらったことに感謝して  
いる。」と話しておられたのが印象的でした。

私は、子ども達に人に迷惑をかけたり人を  
傷つけるような事は「するな！」と言うように  
しています。勿論、相手の立場に立って自分が  
されたらどうかということは諭しますが、それ  
以上有無を言わず「NO」です。どのような  
理由（理屈）があっても「NOなものNO」  
なのです。今すぐでなくてもいずれ理解できる時  
が来ると信じています。

子どもの人格ではなく、悪い事に対して「NO」  
ということをおかしてもらえないように「OK！」  
も「NO」以上に発信するように心がけつつ…。



## 西宮YMCA 三島浩司メン

世界の、そして、日本のいたるところから様々な災害や事件のニュースが飛び込んできます。大きな災害や事件が、続いて起きる災害や事件の陰にどんどん隠れていってしまっているように思います。あの震災の後のサリン事件、須磨の少年事件。なんとなくあの時と重なってしまいます。世の中が少しでも明るくなり、子ども達や若者達が希望を持って生きていく事ができるようにとの願いを持って日々の活動を続けていきたいと思えます。この夏休みも多くの子ども達や若者達と共に様々なキャンプを計画、準備中です。西宮YMCAでも30名余りの新入リーダーを迎え、ミーティングやトレーニングに取り組み始めました。キャンプの安全、そして、多くの実りがあるようにお祈りくださいますようよろしくお願いいたします。

### 1. 各法人、理事会・評議員会開催

5月27日に社会福祉法人、5月28日に財団法人、5月29日に学校法人でそれぞれ理事会・評議員会が開催され、2007年度の事業報告、決算が承認されました。また、財団法人の理事会においては、財団所管の委員会（東部地域、中央地域、西部地域、ウエルネス事業、教育事業、総務、役職人事）の各委員の委嘱も承認され、6月から新しい委員による委員会活動が開始されることになっています。尚、6月からの新しい任期においても、武田寿子さんが理事長に、中道基夫さんが副理事長に再任されました。

### 2. 総会、開催

5月30日、神戸キリスト教青年会の定期総会が開催されました。総会実行委員会の皆さんが準備して下さった総会に、120名を超える会員や職員が集い、開催することができました。通例の事業報告の後に、今年は名誉会員の紹介や125周年記念ロゴの紹介などがなされ、また、2部は会場を食堂に移して、ボランティア奨励賞の紹介などがあり、楽しい雰囲気を作り出すことができました。多くの方々が総会の準備や実施に当たって下さったことに感謝いたします。

### 3. 宝塚ワイズメンズクラブ、20周年

5月31日、宝塚ワイズメンズクラブが20周年を迎え、宝塚ホテルで記念式典が行なわれました。約120名のワイズメンやゲストが集り、この20年を振り返り、思いを集める会となりました。宝塚YMCAが会館移転や縮小を余儀なくされたことに合わせて、宝塚クラブも移動を余儀なくされたり、阪神大震災で多くのメンバーが苦難を経験したり、またこの間に、幾人かの有力メンバーが天に召されたことなど多くの困難を乗り越え、20年を節目に更に精力的に活動しようとされているエネルギーが感じられる素晴らしい会でした。

### 4. クリーンキャラバン、大成功

6月1日、ユース委員会がかねてから準備をしてくださったユースによるクリーンキャラバンが開催されました。約100名の方々が集り、東遊園地から4つのグループに分かれ、ゴミを集めながら4方向でYMCAを目指すというものです。下見のときは意外とゴミが少なく、その「成果」を心配していましたが、当日はかなりのゴミの量で、ゴミ袋を急遽追加するということもあるほど、ゴミ収集は成功しました。また、YMCA帰着後にはチャペルで振り返りの時を持ち、多くの参加者が様々な気付きをしたことが語られました。ボランティアで参加して下さった神戸出身のシンガーソングライター石田裕之さんがミニコンサートをしてくださり、盛り上げに花を添えてくださいました。ほとんど若い世代で準備されたこの催しが今後のユースの結集に繋がっていくことを期待します。参加いただいた皆様ご苦労様でした！

### 5. 近江岸建助主事、古谷武雄元総主事、召天

5月29日、3月末まで西宮YMCA保育園の園長を務めていただいた近江岸建助主事が召天されました。(享年60歳)近江岸さんは1970年に神戸YMCAに入職。幼少よりキャンプと親しみ、キャンプリーダーの経験を経て、神戸YMCA入職後は長年余島キャンプ長として務められました。その間、多くのリーダー、メンバーを育てられ、31日の前夜式、1日の葬儀には多くのリーダーOBOGが駆けつけ、その余りにも早い死に涙しておられました。理事会はそ



の長年の功績に対して、名誉主事の称号を贈ることを決め、生前にそのことをお伝えすることができました。天上での御霊の平安をお祈りします。

また、6月7日、神戸YMCAで1984年から1992年まで第7代総主事を務められた古谷武雄さんが召天されました。（享年76歳）古谷さんは1955年に横浜YMCAに入職され、その後神戸YMCAに移籍、一時、日本YMCA同盟にもおられました。長く神戸YMCAの主事、主任主事として、そして1984年からは総主事として定年までお勤めになりました。1986年の神戸YMCA100周年記念事業、1988年の学園都市会館開設などを担ってこられ、また、同盟では「体育3ヶ年計画」の推進を担われ、全国のウエルネス事業の発展にも尽力されました。定年後2年間、顧問として、またちとせ幼稚園園長として残られましたが、1995年の阪神大震災で須磨の自宅が全壊。3時間後に救出され、その後、横浜に転居され、現在に至っています。神戸YMCA名誉主事でもあります。長年の神戸YMCAでの献身に感謝し、御霊の平安をお祈りします。

#### 6．第19回午餐会、開催

6月7日、第19回を数える午餐会が開催され、42名の方が出席されました。今回は、「賀川豊彦の献身から100年」というテーマで、賀川豊彦のお孫さんに当たる賀川督明さんをゲストに迎えてお話を伺いました。賀川豊彦は20世紀の世界でノーベル平和賞の候補にもなった社会事業家で、賀川の残した遺産は今コープこうべやイエス団、あるいは大学生協や農協、漁協などにも受け継がれています。また、関東大震災に神戸YMCAから駆けつけた賀川の働きは東京でも教会やいくつかの団体となって受け継がれ、私たちにも災害救援の際には必ず名前が呼び戻される縁のある人物です。1909年、現在の生田川の東（当時は新川）にあったスラムに単身入り込んで救民活動を行なったことを記念して、来年「賀川献身100年」の事業が行なわれることになっていて、神戸YMCAからも今井顧問を筆頭に、水野総主事、小澤主事（保育園）も関係しています。午餐会当日は

賀川督明さんから賀川豊彦の働きを伺い、またこれから賀川精神をどのように継承していくのかという話も伺うことができました。

#### 7．「私とあなたの難民支援」講演会、開催

午餐会に引き続き、国際活動委員会を拡大して特別な講演会が開催されました。この講演会は、日本UNHCR（国連難民高等弁務官）協会から事務局長の根本かおるさんをお招きして世界の難民の状況、UNHCRの働きについてお話を伺うことができました。平和な日本にいて、難民を身近に感じることの少ない私たちですが、今も多くの難民が厳しい現実の中で生活をしていること、そして彼らを支援するために日本を離れて遠くアフリカや他の地域で働く日本人のUNHCRスタッフのいることも覚えておきたいと思います。当日は、国際活動委員や国際ボランティアなど20数名の方々が出席されました。

#### 8．第118回日本YMCA同盟委員会及びトップリーダーシップセミナー報告

6月21日から22日、御殿場の東山荘において第118回同盟委員会が開催され、全国から85名の委員が、神戸YMCAからは武田寿子理事長、清水泰人理事、森 紘一常議員、多胡葉子常議員、長井慎吾常議員と水野総主事の6名が委員として出席されました。主たる議題及び内容は、

2007年度同盟事業報告と決算報告

2008年度同盟事業方針と予算

次期同盟役員・常議員選任

武田理事長がまた同盟理事に選任。水野総主事の常議員任期は今回で終了。

日本YMCA同盟定款・・・新公益法人改革に伴う変更が議決。

表彰・感謝授与式

神戸YMCA関係者は以下の通り。（敬称略）

25年勤続者賞・・・宗行孝之介、和田雪

25年継続会員賞・・・阿部信、大家正子、大和田節子、亀徳正夫、佐井旦伯、永井敦子、中尾英輔、中祖順恵、本城智子、村山一郎、森愛子、森章一、山本光央

50年継続会員賞・・・大木素行、中山譲、渡辺春夫

青少年奉仕賞・・・大塚章信、加茂周治、西條遊児、塩田邦博、下村俊子、城 純一、富川直彦、山路正明

主事認定式・・・小澤昌甲さんが主事認証。おめでとうございます。

特に の日本YMCA同盟の公益法人制度改革への対応については、ほぼ神戸YMCAの現在の姿のように、財団法人としては新法に基づく評議員会と理事会を中心とした姿に。また全国の会員運動としての同盟の姿は任意団体の日本キリスト教青年会同盟として、加盟YMCAから選ばれた代議員による総会と会長・総主事・常議員会が規定された「同盟規則」をもって運動推進される姿に変わることが想定されています。財団法人としての新定款(案)は今回の同盟委員会で承認され、任意団体の規則については来年の同盟委員会で諮られることになっています。

また、同盟委員会に先立って、6月20日から21日まで東山荘にて「トップリーダーシップセミナー」が開催され、「新法に基づく公益財団法人としてのYMCAの姿」をテーマに学びの時間が持たれました。新公益法人制度の概要を理解し、新しい機関設計(ガバナンス)のモデルが示され、新しい定款についても情報提供がなされました。それに基づく各YMCAの対応についても意見交換が行なわれ、今後、同盟のみならず、全国のYMCAでこのテーマの議論が進められることとなります。

#### 9. 第126回全国YMCA総主事会議、報告

6月20日から23日、東山荘において同盟委員会を挟む形で、全国YMCA総主事会議が開催されました。今回は、同盟の改革に関する各YMCAからの意見聴取が大きなテーマでしたが、事業推進の責任を担う総主事の会議としては特に社会から大きなチャレンジを受けている専門学校事業、ウエルネス事業の現状と今後について語り合う時間が持たれました。神戸YMCAも同様に厳しい状況にありますが、全国での協働戦略や情報交換が語られました。

#### 10. チャリティースイム、開催

6月22日、ウエルネスセンター学園都市において恒例となったチャリティースイムが開催されました。これは参加費(募金)を払って12時間を泳ぎ継ぐというプログラムで、災害救援の募金に9万円強が捧げられました。泳ぎ継いだ距離は41100mということでした。学園都市ワイズをはじめ、多くのボランティアの方々が支えてくださったことに心より感謝いたします。

#### 11. 人事異動

西宮ワイズメンズクラブのホームページ等でもお世話になった山田洋一主事が、6月末日をもって退職されました。山田主事は21年3ヶ月の在職で、長く電算室を担当くださり、神戸YMCAのIT化を一手に引き受けてくださいました。また、須磨ランチ(ちとせ幼稚園)の島田保子さんも6月末日をもって定年退職をされました。島田さんは35年4ヶ月の長きにわたって勤務くださいました。お二人に心から感謝をし、今後のご健勝とご活躍をお祈りします。

#### 12. 今後の予定

##### 1) タイワークキャンプ25周年記念交流ツアー

タイワークキャンプ25周年を記念して企画いたしました。皆様奮ってご参加ください。

日 程：2008年9月12日～17日

行 先：タイ・チェンマイ

費 用：160,000円

説明会：8月30日 10:00～11:30

於、神戸YMCA

申込み：神戸YMCA国際・奉仕センター

TEL：078-241-7204

##### 2) 西宮YMCA・西宮YMCA保育園カーニバル

恒例のカーニバル、今年度は馬場一郎メンを実行委員長として行われます。

日 程：2008年10月26日

##### 3) 第11回チャリティーラン

神戸YMCAで一番大きな行事となっています。ひとりでも多くの障がいを持つ子ども達がYMCAのキャンプに参加できるように、今年もぜひご支援・ご協力ください。

日 程：2008年11月3日(祝)

会 場：しあわせの村(神戸市北区)

## 余島からあなたへ

余島野外活動センター 中島 晋(新人)  
～人の心を大胆にする釣り～

日に日に日差しが強くなり、夏が近づいてきているのだと感じるこの頃の余島です。前はタコについて書きましたが、今回は釣りです。先日、お客様と釣りに行く機会がありました。早朝6時に起床し、釣竿、餌、そして釣れるかどうかの不安と期待を持ちながら、余島の穴場スポット象の鼻の形をした大きな岩の下「象ヶ鼻」に向かいました。ミミズにムカデの足を生やしたような「ゴカイ」を最初は触れない方もいらっしやいましたが、釣り糸を垂らすと・・・ハゼやフグなどが釣れ大漁でした。余島の海と、糸を引く魚が、人の心を大胆にしてくれるようです。僅か1時間で全員が、気持ち悪い「ゴカイ」をつけられるようになり、魚を釣り上げることができました。釣った魚はその日のお昼にBBQをしておいしく頂きました。これから夏になり魚の種類も増えてくると思います。お客様が釣った魚を見るのを楽しみに、余島での生活を楽しんでいこうと思います。

### トピックス・とびっくす

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、前回紹介しました**検疫探知犬**に続いて**麻薬探知犬**についてウィキペディアをもとにご紹介しましょう。

所管官庁から言えば検疫探知犬は農林水産省の管轄ですが、麻薬探知犬は税関に関わるため、財務省関税局の管轄となります。

麻薬探知犬は、増大する麻薬類の密輸入を防止する目的で導入されたもので、税関では昭和54年6月に米国税関の協力を得て麻薬探知犬2頭を導入したのが始まりで、昭和55年9月からは国内で麻薬探知犬の育成を開始。同56年4月には国内犬の麻薬探知犬認定1号のシェリー号が誕生。同

62年10月に東京税関に麻薬探知犬訓練センターを開設。平成5年9月に場内犬(パッシブドッグ)を導入。現在では全国の税関で入国旅客の携帯品及び外国郵便物等の輸入検査等に活用されており、導入以降、大量の覚せい剤、大麻等の不正薬物の摘発に貢献しています。

## バトンタッチ

小野 勅紘直前会長

7月の期首より、「一人では出来ない。しかし、一人が始めなければ出来ない。」の主題を掲げ、「全員で作るワイズ」を目指し1年間活動してきました。皆様自身が地の塩・世の光としての活動を目指しました。

今期は60周年という節目に当たり、クラブとしては充実の機会でもありました。広島・西宮・近江八幡3クラブの仲間と共同で手作りの記念例会を企画し、「180年のグラフィティを共有する」という所期の目標を達成させることが出来ました。

これは偏に皆様ご自身が常に地の塩のお役目を認識されて、結果として212個の世の光を灯して頂いた何よりの成果です。3クラブの仲間たちとの交流・絆はより強化されたと思います。

ただ残念なことは今期、広島クラブでは3クラブ合同例会の生みの親である益国孝太郎ワイズメン、西宮クラブでは敬愛するチャーターメンバー川瀬貴誉ーワイズメン、余島の仲間であり西宮YMCA保育園初代園長の近江岸建助ワイズメン、3クラブ60周年記念合同例会を最初から支えて下さった堀川吉彦ワイズメンの4人が天に召されたことです。4人の皆さんがワイズを愛し、YMCAの礎として人生を通して献身

された功績は尊く、本当に計り知れないものでした。どうか4人を永くお覚え頂いて、4人の皆様が天よりワイズメンズクラブを見守って頂きたくようお祈りいたします。

新年度からは濱会長をはじめ新体制の皆さんをお支え下さいますようお願いいたします。1年間ありがとうございました。

07 - 08年間例会開催実績( )内はメネット

月	講師	テーマ	人数
7		計画と予算(チェンマイ YMCA プーさん歓迎) 馬場一郎メン入会	15 (6)
8		第2回4クラブ合同納涼例会(幹事: 芦屋クラブ)	9 (4)
9	SOAA 代表 広野ゆいさん	大人の ADHD の現状と課題(メネット月間) 藤原百合子ウィメン入会	17 (6)
10		西宮 YMCA・西宮 YMCA 保育園合同カーニバル	14 (8)
11	西宮 YMCA 小寺主事	AED の説明と実演	18 (1)
12	芦屋クラブ 島田 恒さん	クリスマス祝会・忘年会 岡野重和メン退会	12 (4)
1	ガラシア病院ホスピス長・藤川 晃成さん	ホスピス緩和ケアの現状 について	13 (1)
2	大阪流通科学大学 教授・服部祥子さん	憧れの老い 益国孝太郎メン召天	16 (1)
3		・3クラブ60周年記念例会準備・役割説明 ・山口次期六甲部長方針 ・濱次期会長方針・キャビネット構想 堤一幸メン入会、川瀬貴誉一メン召天	15 (1)
4		職員慰労会・歓迎迎会	15 (2)
5		3クラブ60周年記念合同 例会(琵琶湖) 近江岸建助メン召天	15 (5)
6		活動報告と決算 堀川吉彦メン召天 古谷武雄元メン召天	14 (0)
	合計	期首 22名 増員 +3名 減員 4名 期末 21名(-1)	173 (39 計 202)

07 - 08年度各種参加記録

国際協会	8.7~12 アジア 地域大会	バンコク、チェンマイ	3 (1)
西日本区	西日本区大会	6.14~15 奈良	9
	地域奉仕研修	7.22 大阪	3
東日本区	東日本区大会	6.7~8 東京・江東	1
六甲部	六甲部会	9.22 六甲山 YMCA	8
	他部会	京都、中西、阪和、びわこ	12
	評議会	7.21~3.22	12
	事業委員会	広報 10.1、交流 11.16	1

	会長会 メネット会	12.5、3.3 7.22、8.24、3.8	3 13
各クラブ	(アピール、 クラブ周年 記念例会参 加を含む)	神戸 2、神戸西 1、ポ ート 3、宝塚 3、さん だ 1、学園 1、芦屋 2、 大阪 2、大阪西 1、草 津 1、京都グローバル 1、なかのしま 1、湖東 4クラブ、バンコク 1、 チェンマイ 1、22回	72
西宮クラ ブ関係	第一例会  第二例会  ブリテン作業	3クラブ60周年記念 合同例会、4クラブ合 同納涼例会を含む 役員会、事業委員会を 含む	12回  12回  12回
YMCA 関 係	会長会 総主事懇談会	12.5 3.3	1 2
3クラブ	60周年記念 例会実行委員	作業会、準備会を含む 10回	
その他		その他の催し 31回 (チャリティラン、ワ イン、ゴルフ、スイム、 YY フォーラム、午餐 会、じゃがいもファン ド各種準備会等含む)	
	合計	116回 500名	

小野 勅紘メン

- ・ブルーレイ 探し求めて ブルーデイ
- ・宝くじ 妹の目が 笑っている
- ・村雨の 無粋な野郎 花腐し
- ・船遊び 風情より先に 近江牛

編集後記 **ブリテン委員長 廣瀬 一雄**

5月末の宝塚クラブの周年事業で六甲部内の当面の会も終わり、ホットしたのも束の間、クレリ芦屋でのお別れ会、西日本区大会などなど多忙な6月でもありました。

区大会での役員交代式の写真は芦屋クラブの上野メンの提供ですが、お尋ねをするまでもなく送付いただきました。流石、次次期の区書記さんと感激しております。

今月のブリテンではお別れのメッセージで一杯になっておりますが、久方振りの元メンとの出会いの機会を与えられ感謝。

小野会長、ご苦労さま。浜新会長、二度のお勤めご苦労さまです。